

単元名	時数	学習内容	評価規準			評価方法・資料等
			①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
4 1章 式の計算 1節 式の計算	8	1 多項式の計算	(1)多項式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 (2)具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読みとったりすることができる。 (3)文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉えて説明できることを理解している。 (4)目的に応じて、等式を変形することができる。	(1)具体的な数の計算や既習の計算方法と関連付けて、多項式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算方法を考察し表現することができる。 (2)文字を用いた式を活用して、具体的な場面を考察し表現することができる。	(1)文字を用いた式の必要性と意味を考えようとしている。 (2)文字を用いた式について学んだことを、生活や学習に生かそうとしている。 (3)文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	・ノート②③ ・ワーク③ ・提出課題①②③ ・授業観察①②③ ・ふりかえりシート③ ・小テスト①② ・単元テスト①②③ ・定期考査①②③
		2節 文字式の利用				
5 2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方	7	1 連立方程式とその解	(1)2元1次方程式とその解の意味を理解している。 (2)連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 (3)加減法と代入法を理解し、連立2元1次方程式を解くことができる。 (4)具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。	(1)1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 (2)連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 (3)連立2元1次方程式を活用して具体的な問題を解決することができる。	(1)連立2元1次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 (2)連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2節 連立方程式の利用				
6 3章 1次関数 1節 1次関数	2	1 1次関数	(1)1次関数について理解している。 (2)事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 (3)2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 (4)1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 (5)1次関数の関係を表・式・グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	(1)1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し、表現することができる。 (2)1次関数を用いて具体的な事象を捉えて考察し、表現することができる。	(1)1次関数の必要性と意味を考えようとしている。 (2)1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2節 1次関数の性質と調べ方				
7 3節 2元1次方程式と1次関数	8	1 2元1次方程式のグラフ				
		2 連立方程式とグラフ				
9 4節 1次関数の利用	4	1 1次関数とみなすこと				
		2 1次関数のグラフの利用 3 1次関数と図形 1章の問題				
10 4章 平行と合同 1節 説明のしくみ	3	1 多角形の角の和の説明	(1)多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。 (2)平行線や角の性質を理解している。 (3)平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 (4)証明の必要性と意味及びその方法について理解している。	(1)基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。	(1)証明の必要性と意味及び証明の方法を考えようとしている。 (2)平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2節 平行線と角				2 平行線と角
11 3節 合同な図形	6	1 合同な図形の性質と表し方				
		2 三角形の合同条件 3 証明の進め方 1章の問題				
12 5章 三角形と四角形 1節 三角形	8	1 二等辺三角形の性質	(1)証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 (2)定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 (3)二等辺三角形の性質と二等辺三角形になるための条件を理解している。 (4)直角三角形の合同条件を理解している。 (5)平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件を理解している。 (6)正方形・ひし形・長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 (7)反例の意味を理解している。 (8)平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	(1)三角形の合同条件などをもとにして、三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 (2)証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。 (3)三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。 (4)ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 (5)平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、説明することができる。	(1)証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。 (2)平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2節 平行四辺形				1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 特別な平行四辺形 4 平行線と面積 1章の問題
1 6章 確率 1節 確率	6	1 同様に確からしいこと	(1)多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 (2)起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 (3)あることからの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。	(1)同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 (2)確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	(1)場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。 (2)不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		2節 確率による説明				1 確率による説明 1章の問題
2 7章 データの比較 1節 四分位範囲と箱ひげ図	4	1 四分位範囲と箱ひげ図	(1)四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 (2)コンピュータなどの情報手段を用いるなどして、データを整理し箱ひげ図で表すことができる。	(3)四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読みとり、批判的に考察し判断することができる。	(1)四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。 (2)データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (3)四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
		1章の問題				
いろいろな問題等	9					
配当時数合計	105					